農業鑑定競技会

能代西高校をはじめ、全国で農業を学 ぶ高校生で組織する日本学校農業クラブ 連盟。

その日本学校農業クラブ連盟が主催する「農業鑑定競技会」(今年の全国大会は、10月に宮城・山形県で開催)の校内選考会が3月16日に能代西高で開かれました。

当日は、生物資源系列の1年生13人と 2年生17人が出場し、およそ15分間の実 物鑑定に臨みました。農業機械や農機具

のほか、農作物の品種特性、病害虫の特徴と防除方法、バイオテクノロジーや農業経営に関する問題など出題範囲は多岐に及びます。

生徒らは、1問あたりの制限時間20秒以内に答えていくので必死に特徴を探し出し、設問に答えていきました。今年の成績上位者は、2年生の杉山剛士さん、大森紅華さん、加藤未衣奈さんに加え、1年生の池内祐紀さんの健闘が光りました。

今後、成績上位者の他に数名加えて、全県大会そして全国 大会で勝ち抜くために学習会が行われます。生徒の活躍に乞 うご期待!



具剣に問題を解く生徒



記述以外の問題もあります



1問20秒で解答計算問題を除いて

農業技術検定試験

今年度から、生物資源系列でも本格的に農業に関する資格取得を目指し、その学習に力を入れています。今回紹介するのは「農業技術検定試験」です。

この試験は、農業に関する基礎的な知識はもちろんのこと、 応用的な知識も問われる難易度の高い試験です。

今年は、生物資源系列の2年生15人が3級の試験に挑戦し、 金谷一希さんと山崎美乃梨さんの2人が見事資格取得を果たし ました。惜しくもあと2問前後の壁に阻まれて涙をのんだ生徒 も多く、リベンジに向け早くも始動しているそうです。

